



虹の会 ニュース

第 53 号

2017. 1. 1
発行

編集発行 特定非営利活動法人 虹の会

TEL 04 (7179) 3133

FAX 04 (7179) 3130

〒270-1114 我孫子市新木野 3-32-15

郵便振替口座 00180-0-592018

新年、あけましておめでとうございます



虹の会 理事長 横山耕太

虹の会の運営を受け継いで最初のお正月を迎えることができました。これも、虹の会の設立の趣旨にご賛同いただき、様々な形で活動に加わってくださる皆さま方のお力添えの賜物です。年頭に当たりまして、改めて、日ごろのご理解ご協力に感謝申し上げます。

虹の会は、「介護が必要になっても今まで通り自宅で暮らし続けられる地域を作りたい」という高井さん夫妻を中心とした創設メンバーの熱い気持ちにより生まれました。組織立ち上げから14年目を迎え、去年は高井さんの退任もあって、世代交代が進んでいます。職員の大半も創設時のメンバーとは入れ替わりました。創設以来の理念を継承するために「我々の組織は何のために存在しているのか」を、私自身も含め、改めて職員一同で振り返る時期に来ていると感じています。その一環として、研修を通じて職員全員で組織の理念を再確認しました。最近では、毎朝のミーティングで理念の唱和を行う光景もすっかり板についてきました。今年も、この取り組みをさらに進め、今まで以上に地域に開かれた組織を心がけてゆきたいと考えています。

幸いなことに、新木地区は「高齢者見守りネットワーク」や「ふらりえ新木野」をはじめとした社会資源に恵まれており、住民の方の地域への関心も高いように感じられます。また、虹の会の活動にご理解いただける個人や団体にも多く恵まれ、とても心強く感じています。これらの有形無形の存在は、近年注目されている言葉に置き換えますと「ソーシャルキャピタル」ともよばれる貴重な財産です。この財産を有効に活用し、地域の方々との連携をとり続けてゆければ、きっと、高齢になっても安心して暮らし続けられる理想的なまちづくりが実現できます。そのためにも引き続き、皆さまからのご支援ご協力を賜りたく、よろしく願い申し上げます。

謹賀新年 今年もどうぞよろしくお願いたします。(職員一同)



飯塚 山本



多田 水野 高橋 丸山 宿谷
横山 染谷 越後 日向 森戸



寺島 渡邊



磯岡



田中 佐藤



ある日の夕方、職員がデイルームの掃除を始めると、その場にいた利用者さんが「私たちも手伝うわよ」と、モップを持って参加してくれました（右写真）。

他にも、お茶碗洗いやお洗濯などを自発的にやってくくださる方々もいます。洗濯物のたたみ方など、まるでクリーニング屋さん頼んだかと思うほどの丁寧な仕上がりですし、お掃除の時間になると「手伝いに来たよー」と、わざわざ通ってきてくれる近所の利用者さんもいます。

加齢とともに体力が衰えてしまうのは致し方ない事ですが、それに伴って、今まで担っていた役割が奪われてしまったり、存在感も小さくなってしまおうとしたら、それは悲しい事です。

ですから、私たち職員の仕事は、利用者さんのお世話を一方的にすることではなく、それぞれの得意な事を存分に発揮してもらう舞台を用意することだと思っています。

家事が苦手でも大丈夫。折紙がとても上手な方、おしゃべりが得意で周りを明るく笑わせる方… 出番はいっぱいあります。

個性豊かな利用者さんがキラキラと輝く虹の家を、これからも大切にしたいと思えます。

※ エピソード、写真の掲載に当たり、関係者の方々の承諾を受けています



<http://nijinoie.iinaa.net/>



虹の家の詳しい情報はインターネットでもご覧いただけます。検索エンジン(Yahoo など)にて **宅老所 虹の家** **検索** でアクセスしてください。

虹の会ってどんなところ!?

「障害や高齢のために介護が必要になっても、できる限り自宅で暮らしたい!」と望む人たちの気持ちに寄り添って、様々なお手伝いをするためのNPO法人です。

2003年、新木野3丁目に「宅老所 虹の家」(小規模多機能型居宅介護事業所)を開設して以来、介護が必要な方へ「通い」「泊まり」「訪問」のきめ細かなサービスを通じて在宅での暮らしを支えています。

「誰にとっても住みやすい街づくり」という目標にむけて、地域に開かれた運営を心がけています。

見学随時大歓迎。

ボランティアさんが手入れしてくれた庭の草花を見に、お気軽にお越しください。

